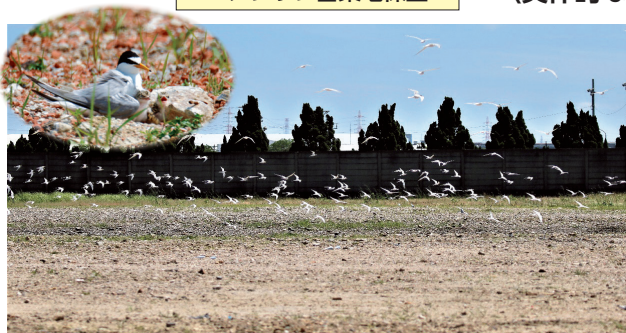




《将来に向けた取組方針》

ジェイテクトでは、「All for One Earth」のグローバルメッセージのもと、かけがえのない地球を次の世代に引き継ぐため、グローバルで生物多様性保全活動を展開しています。取組みに当たっては、「各工場に生息、生育する希少な生き物の保全」、工場を取り巻く「地域の自然環境の整備」、継続的な保全活動を進めるための「環境人材の育成」という三つの柱を掲げ、中でも、希少な生き物の保全に当たっては、専門家や学識経験者の意見を踏まえた客観的評価を重視しています。なお活動に当たっては、活動への参加人数をKPIとしており、今後も地域と連携し活動の輪を広げていきます。

コアジサシ営巣地保全



田戸岬工場では「工場敷地内におけるコアジサシを主とする鳥類の営巣地保全に関する覚書」を西三河野鳥の会様と2017年12月に締結し、取組みへのご指導・ご協力を頂きながら「コアジサシの営巣地保全」を主とした生物の生息環境復元に取組んでいます。

※コアジサシ…春から夏にかけて、繁殖のために日本にやってくる渡り鳥。
環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ種

〈具体的な取り組み事例〉

とくしま協働の森づくり事業



徳島工場では、徳島県・徳島森林づくり推進機構とパートナーシップ協定を締結し、『とくしま協働の森づくり事業』に参画しています。この事業は企業や一般の家庭から排出するCO₂のうち、自身で削減できない部分を間伐や植林など森林整備による吸収で埋め合わせる「カーボンオフセット」の仕組みをモデル的に実施するもので、活動を通じて地域の皆様と共に持続可能な社会の実現に貢献していきます。